

# (仮称)モノレール沿線まちづくり構想の概要と現在の状況

## 概要

- 目的 モノレール延伸後を見据え、地域の持つポテンシャルを最大限発揮するまちづくりの方向性を明らかにすること
- 策定主体 2市1町(東大和市・武蔵村山市・瑞穂町)共同の策定
- 特色
  - ①時期 モノレールの都市計画素案前のまちづくり構想
  - ②主体 関連2市1町共同による構想策定
  - ③内容 基盤整備にとどまらず、企業誘致や観光など幅広い分野を包括
- 策定期期 30年中の公表を目標
- その他
  - パブリックコメント等により一般の方々などから意見聴取
  - ・パブリックコメント:10月16日～11月14日
  - ・まちづくり審議会:10月19日 ・地域公共交通会議:10月25日

## 主な構成・内容等

### 検討の視点の整理

- ・「モノレール沿線まちづくり」とは何か  
⇒モノレールの持つ特性とまちに及ぼす変化
- ・検討の視点の整理(交通・暮らし・交流)

### 現状データの整理

- 課題やポテンシャルを把握するためのデータ収集
- ・交通 : バスルート図、交通機関分担率、など
- ・暮らし : 人口、立地(拠点性)、土地利用、など
- ・交流 : 施設来場者数、各市町イベント、など

### 将来像の設定

- ・都や国の関連計画(グランドデザインなど)
- ・各市町のマスタープラン、関連計画整理

### 課題設定 施策の方向性検討

- 施策の方向性や事例などを整理
- ・交通利便性向上 : バス路線(フィーダー)再編、駅アクセス改善  
交通結節点整備(交通広場・駐輪場整備)
- ・良好な住環境の形成 : 駅周辺・沿道の高度利用、都市機能の集約  
区画整理事業の推進、自然環境(農地)保全
- ・活発な交流の実現 : 企業誘致の推進、公共施設市町間利用  
観光農園・観光農業の充実 など

## 策定スケジュール(案)

現在 ↓

時期	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
市町	検討着手	素案検討・調整			パブコメ 外部会議※	素案修正	公表予定
議会等	2定			3定			4定

※外部会議として、武蔵村山市では「地域公共交通会議」「まちづくり審議会」